

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和元年12月4日

協議会名: 志摩市地域公共交通会議

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

補助対象事業者等	事業概要	前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】  なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
志摩マリンレジャー株式会社	【航路名】和具～賢島航路 【運航区間】和具～間崎～賢島	市民および観光客等の利用者数を定量的目標として設定することを反映。 観光客の利便性向上のため、志摩MaaS協議会を設立し、志摩MaaS実証実験を実施している。	A	前年同様、強風や波浪のため運航を見合わせた便はあったが、事業は概ね適正に実施された。	C 市民および観光客等の利用人数を16,000人以上としたが、実績値は14,906人と下回った。伊勢志摩サミット開催から約3年が経過し、サミット開催地及び英虞湾定期船の拠点である賢島への来訪者の低下が原因の1つと考えている。 近鉄賢島駅利用者数前年度比-5%	・今年度実施している観光客の動向調査、ニーズ調査結果を踏まえ、観光資源の磨き上げや、未活用資源を活用したコンテンツ造成などの取り組みを実施予定。 ・周遊性のさらなる向上を目指し、MaaSを組み込んだ旅行商品の造成等を実施予定。 ・多言語化、Wi-Fi整備、バリアフリー化など、観光客の受入環境整備に向けた取り組みを継続し実施予定。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和元年12月4日

協議会名:	志摩市地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	離島航路運営費等補助金
----------	-------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	「住む人支え」= 誰もがいつまでも安心して暮らしていけるための最低限の生活の質を保證する生活交通サービスの確保 「来る人迎える」= 利便性が高く、持続可能な生活交通ネットワークの追及 以上の2点を基本理念とし、この実現のために費用の効率の高い方策によって、みんなで取り組む。
-----------------------------	---